

事務事業名	庁舎管理事業			事業コード	02010500101		
所管部署	監理課	電話	50-3021	記入者名	岡崎 青史		
事業対象	市民、職員						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	効率的な行政運営の推進		事業種別	施設管理事業		
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	庁舎清掃業務等		
根拠法令	無						
根拠例規	有 坂井市庁舎管理規則						
関連計画	無						
事業の目的・事業の概要等	公務が正常かつ円滑に執行出来るよう、市役所本庁舎及び各総合支所庁舎の施設を良好に維持管理する。						
	<p>◆庁舎（本庁舎及び各総合支所庁舎）の維持管理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 消耗品費（コピー用紙、OA機器消耗品、蛍光灯等） 5,400千円 燃料費（灯油、ガス） 6,400千円 光熱水費（電気、上下水道） 33,200千円 修繕料（庁舎、設備等） 3,150千円 ○役務費（電話料、建物法定点検、火災保険料等） 9,806千円 ○委託料（各種保守点検・電話交換、電気工作物、庁舎清掃等） 26,087千円 （春江支所改修工事実施設計） 1,500千円 ○使用料及び賃借料（NHK、CATV利用料等） 1,485千円 （デマンド監視装置 4台） 441千円 ○工事請負費（本庁トイレ改修工事） 1,670千円 （本庁放送設備改修工事） 6,200千円 （三国庁舎1階照明LED化工事） 3,400千円 ○備品購入費（イス、電話機等） 150千円 ○負担金（防火協会負担金等） 676千円 						

【事業の概要】

すぐに行ける改善提案	本庁及び各総合支所の長期的な利用方針に従い、効率的な管理に努めます。また、全課が一丸となって省エネ推進に取り組みます。		
目標年度 平成24 年度			
取組状況	各庁舎に「デマンド計」を設置し、電気量の削減を図ります。		
中長期的に取り組むべき改善提案	全課が一丸となって省エネ推進に取り組みます。また、庁舎内の古い照明器具から順次LEDに交換します。		
目標年度 平成30 年度			
取組状況	平成24年度三国庁舎の1階照明をLEDに交換します。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費					
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	26,431	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	45,366	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	10,536	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	17,852	千円	千円	千円	千円	千円		
			事業費合計	100,185	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費		正職員	1.70 人	11,552 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.10 人	229 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.80 人	11,781 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	事業費		総事業費	111,966 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			特定財源	国県支出金	470 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	105 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			1,792 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			109,599 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	111,966 千円	千円	千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	引き続き省エネ推進に取り組みます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	引き続き推進します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	引き続き節電に取り組みます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	現状で努力します。			
すぐに行ける改善提案	本庁及び各総合支所の利用方針に従い、効率的な管理に努めます。また、全課が一丸となって省エネ推進に取り組みます。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	全課が一丸となって省エネ推進に取り組みます。また、庁舎内の古い照明器具から順次LEDに交換します。			
目標年度 平成30 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度				
成果	%	目標値	▲1.0	達成率	▲1.0	達成率	▲5.0	達成率	0	達成率
		実績値	▲1.0	---	0	---	▲4.8	---	0	達成率
活動	千円	目標値	31,956	達成率	32517	達成率	32531	達成率	34093	達成率
		実績値	31,956	100	32517	100	32531	100	34093	100
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率		達成率		達成率

【事業の成果】

事務事業名	財産管理事業			事業コード	02010500201																												
所管部署	監理課		電話	50-3021		記入者名	岡崎 青史																										
事業対象	市民																																
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）																											
	基本計画	効率的な行政運営の推進			事業種別	ソフト事業																											
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託		委託内容	境界確定（測量）、土地鑑定評価																											
根拠法令	有	地方自治法																															
根拠例規	有	坂井市財務規則、法定外公共物管理条例、行政財産の目的外使用に関する条例、財産の交換、譲与、無償貸与に関する条例																															
関連計画	無																																
事業の目的・事業の概要等	市の財産管理状況を把握し、普通財産の適切な貸付等を行うことにより財産の有効活用を図る。																																
	<p>◆監理課所管の行政財産及び普通財産の維持管理経費</p> <table border="1"> <tr> <td>○需要費</td> <td>消耗品費（除草剤、売地看板等）</td> <td>115千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>燃料費、光熱水費</td> <td>340千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>修繕料（機械器具等）</td> <td>77千円</td> </tr> <tr> <td>○役務費</td> <td>火災保険料</td> <td>90千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>損害保険料（損害賠償補償保険）</td> <td>8,655千円</td> </tr> <tr> <td>○委託料</td> <td>（枯木伐採、境界確定、測量、土地鑑定、除草財産管理システム保守）</td> <td>7,435千円</td> </tr> <tr> <td>○使用料及び賃借料（土地借上料）</td> <td></td> <td>47,595千円</td> </tr> <tr> <td>○補償補填及び賠償金（事故等損害賠償金）</td> <td></td> <td>5,000千円</td> </tr> <tr> <td>○その他</td> <td>原材料費、研修旅費等</td> <td>90千円</td> </tr> </table>							○需要費	消耗品費（除草剤、売地看板等）	115千円		燃料費、光熱水費	340千円		修繕料（機械器具等）	77千円	○役務費	火災保険料	90千円		損害保険料（損害賠償補償保険）	8,655千円	○委託料	（枯木伐採、境界確定、測量、土地鑑定、除草財産管理システム保守）	7,435千円	○使用料及び賃借料（土地借上料）		47,595千円	○補償補填及び賠償金（事故等損害賠償金）		5,000千円	○その他	原材料費、研修旅費等
○需要費	消耗品費（除草剤、売地看板等）	115千円																															
	燃料費、光熱水費	340千円																															
	修繕料（機械器具等）	77千円																															
○役務費	火災保険料	90千円																															
	損害保険料（損害賠償補償保険）	8,655千円																															
○委託料	（枯木伐採、境界確定、測量、土地鑑定、除草財産管理システム保守）	7,435千円																															
○使用料及び賃借料（土地借上料）		47,595千円																															
○補償補填及び賠償金（事故等損害賠償金）		5,000千円																															
○その他	原材料費、研修旅費等	90千円																															

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	不要と判断された土地について、売払い及び貸付を検討します。売払いについては、普通財産の洗い出しを行い、新規物件及び過年度売れ残り分を含め売払いを実施します。また、法定外公共物については広報及びホームページを通じ、払い下げを促進します。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	売払い可能資産の洗い出し及び境界確定を順次行い、いつでも売払いできるような体制を整備します。
中長期的に取り組むべき改善提案	普通財産の売却等を行い、財源確保に努めます。
目標年度 平成30 年度	
取組状況	不整形又は狭小な土地については、隣接者への売払いに努めます。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費				
コスト	事業費	報酬	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			6,897	千円	千円	千円	千円	千円		
			540	千円	千円	千円	千円	千円		
			8,697	千円	千円	千円	千円	千円		
			99,754	千円	千円	千円	千円	千円		
			115,888	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	1.69 人	11,484 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.10 人	229 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.79 人	11,713 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費		127,601 千円		千円		千円		千円
	事業費	特定財源	国県支出金	1,995 千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円			
その他			1,235 千円	千円	千円	千円				
一般財源			124,371 千円	千円	千円	千円				
	財源合計		127,601 千円		千円		千円		千円	

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	普通財産の売払いを促進します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	普通財産の売却を行い、財産の確保に努めます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	広報誌及びホームページを利用します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	現状で努力します。			
すぐにできる改善提案	引き続き普通財産の洗い出しを行い、売払いを促進します。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	普通財産の売却を行い、財源の確保に努めます。			
目標年度 平成30 年度				

成果	土地の売払い額	千円	目標値	30,000	達成率	38,000	達成率	41,000	達成率	37,000	達成率
			実績値	39,613	132.04	8,640	22.74	59,106	144.16	47,072	127.22
活動	売払い面積	㎡	目標値	2,025	達成率	1,943	達成率	4,594	達成率	2,743	達成率
			実績値	2,025	100	1,943	100	4,594	100	2,743	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	市営駐車場等運営事業			事業コード	02010500304
所管部署	監理課	電話	50-3021	記入者名	岡崎 青史
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	公共交通網の整備・充実		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	JR駐車場は指定管理者
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市営駐車場条例及び施行規則			
関連計画	無				
事業の概要	行政目的に応じて設置した駐車場及び駐輪場の適切な管理を行い、住民の利便性向上に努める。				
	◆市内駐車場（16箇所）及び駐輪場（9箇所）の維持管理経費				
事業の目的・事業の概要等	【駐車場】 （直営）	三国サンセットビーチ、雄島橋、三国駅前、えっせる坂、桜谷、山上西、新保中央、三国港駅前、荒磯ふれあい公園、今新（指定管理者）JR春江駅駐車場、JR丸岡駅南駐車場、JR丸岡駅長畑駐車場、丸岡まちかど公園駐車場、お天守前駐車場、東尋坊駐車場			
	【駐輪場】 （JR）	春江駅東、春江駅西、丸岡駅南、丸岡駅北 （えち鉄） 太郎丸駅、西春江駅、西長田駅、下兵庫駅、大関駅			
	○需要費	消耗品費 光熱水費（電気、上下水道） 修繕料（舗装補修、照明器具等）	10千円 212千円 530千円		
	○役務費	火災保険料	1千円		
	○委託料	（三国駅前駐車場管理、清掃、除雪）	1,752千円		
	○使用料及び賃借料（土地借上料）		1,596千円		

すぐにできる改善提案	市営三国駅前駐車場を廃止し、普通財産として敷地を京福ビル等に貸し出しを検討しています。また、JR春江駅駐車場の月極制を回数制に検討しています。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	三国公民館の駐車スペースが不足していることから、貸付面積を調整しています。JR春江駅駐車場の指定管理が平成24年度で満了することから、平成25年度からの指定管理者の運営条件の変更を検討しています。
中長期的に取り組むべき改善提案	無料駐車場を廃止し、その敷地を地元で管理するよう検討していきます。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	新保及び山上西駐車場について、地元区長等と協議しています。

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,662	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	723	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,551	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	3,936	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.69 人	4,689 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.69 人	4,689 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	8,625	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	1,813	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		6,812	千円	千円	千円	千円				
	財源合計	8,625	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	三国駅前駐車場、えっせる坂駐車場をH25より指定管理者制度へ移行していきます。			
実施主体の方向性	地域への移管を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	山上西駐車場、桜谷駐車場、新保駐車場は関係区長と協議し、貸付または月極有料化の方向で検討していきます。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	現在の利用形態からは運営経費の削減は限界に近いと、指定管理者募集において地域や他の施設との連携による利用率向上、サービス向上などの効果を求めています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	現状で努力します。			
すぐにできる改善提案	三国駅前駐車場、えっせる坂駐車場を一括して指定管理者制度へ移行します。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	駐車場利用の向上を図りながらも、市有財産の有効活用の観点から駐車事業の見直し（高度利用、他用途変更、廃止売却）を検討していきます。			
目標年度 平成27 年度				

成果	年間駐車料金	千円	目標値	7500	達成率	7500	達成率	7500	達成率	7500	達成率
			実績値	7313	97.51	7161		7073		7595	
活動	年間利用台数（指定管理者）	台	目標値	30000	達成率	30000	達成率	30000	達成率	30000	達成率
			実績値	32098	106.99	32248		32494		34530	
活動	年間利用台数（市営）	台	目標値	5000	達成率	5000	達成率	5000	達成率	5000	達成率
			実績値	8584	171.68	5255		5560		6403	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

事務事業名	公用車管理事業		事業コード	02010500401																											
所管部署	監理課	電話	50-3021		記入者名	岡崎 青史																									
事業対象	職員																														
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）																										
	基本計画	効率的な行政運営の推進		事業種別	ハード事業																										
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容																											
根拠法令	無																														
根拠例規	有	坂井市公用自動車使用規程																													
関連計画	無																														
事業の概要	<p>公用車を適切に管理し、効率的な配置及び運用を行う。 また、市長、議長公用車の運行及び行政、関係団体研修等に使用するバスの運行を管理する。</p>																														
	<p>◆公用車（一般会計本庁・支所分 全85台）の維持管理経費</p> <p>【内訳】普通車46台、軽自動車36台、研修バス3台</p> <table border="1"> <tr> <td>○賃金</td> <td>バス運転手（2名）</td> <td>3,644千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○需用費</td> <td>消耗品費（交換オイル、タイヤ等）</td> <td>1,300千円</td> </tr> <tr> <td>燃料費（ガソリン、軽油）</td> <td>9,653千円</td> </tr> <tr> <td>修繕料（通常故障及び事故損傷等、車検時）</td> <td>6,700千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○役務費</td> <td>手数料（車検手数料、バス法定点検等）</td> <td>1,438千円</td> </tr> <tr> <td>自動車保険料（自賠責、任意保険）</td> <td>3,492千円</td> </tr> <tr> <td>○使用料及び賃借料</td> <td>公用車リース （既存契約23台、リース満了買取り8台）</td> <td>5,317千円</td> </tr> <tr> <td>○備品購入費</td> <td>（軽乗用2台、軽貨物1台）</td> <td>3,124千円</td> </tr> <tr> <td>○補償補填及び賠償金</td> <td>（事故等損害賠償金）</td> <td>2,500千円</td> </tr> <tr> <td>○公課費</td> <td>自動車重量税（車検57台分）</td> <td>851千円</td> </tr> </table>					○賃金	バス運転手（2名）	3,644千円	○需用費	消耗品費（交換オイル、タイヤ等）	1,300千円	燃料費（ガソリン、軽油）	9,653千円	修繕料（通常故障及び事故損傷等、車検時）	6,700千円	○役務費	手数料（車検手数料、バス法定点検等）	1,438千円	自動車保険料（自賠責、任意保険）	3,492千円	○使用料及び賃借料	公用車リース （既存契約23台、リース満了買取り8台）	5,317千円	○備品購入費	（軽乗用2台、軽貨物1台）	3,124千円	○補償補填及び賠償金	（事故等損害賠償金）	2,500千円	○公課費	自動車重量税（車検57台分）
○賃金	バス運転手（2名）	3,644千円																													
○需用費	消耗品費（交換オイル、タイヤ等）	1,300千円																													
	燃料費（ガソリン、軽油）	9,653千円																													
	修繕料（通常故障及び事故損傷等、車検時）	6,700千円																													
○役務費	手数料（車検手数料、バス法定点検等）	1,438千円																													
	自動車保険料（自賠責、任意保険）	3,492千円																													
○使用料及び賃借料	公用車リース （既存契約23台、リース満了買取り8台）	5,317千円																													
○備品購入費	（軽乗用2台、軽貨物1台）	3,124千円																													
○補償補填及び賠償金	（事故等損害賠償金）	2,500千円																													
○公課費	自動車重量税（車検57台分）	851千円																													

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	本庁及び各総合支所の公用車の効率的な管理に努めます。また、全職員が一丸となり、公用車管理及び交通事故防止に努めます。老朽車両（普通16年・軽14年）の入れ替えを順次行います。	
目標年度 平成28 年度		
取組状況	毎年3～5台の入れ替えを行い、普通乗用車を軽自動車へ変更していきます。	
中長期的に取り組むべき改善提案	部単位又は建物単位での共有車の導入を目指し、効率的な公有車台数を目指します。	
目標年度 平成30 年度		
取組状況	全体的な台数削減に努めています。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費				
コスト	事業費	報酬	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			11,544千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			3,773千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			8,676千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			23,993千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	2.40人	16,308千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	1.80人	4,127千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	4.20人	20,435千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	44,428千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円			
その他			3,860千円	千円	千円	千円				
一般財源		40,568千円	千円	千円	千円					
財源合計	44,428千円	千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	効率的な維持管理に努めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	効率的な維持管理並びに事故防止に努めます。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	利用目的に応じて、普通乗用車から軽乗用車に変更していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	現状で努力します。			
すぐにできる改善提案	部単位または建物単位での共有車の導入を計画し、効率的な公用車の台数を目指します。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	全体的な台数削減に努めています。			
目標年度 平成30 年度				

【所属長評価】

	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度		
成果	1台あたりの年間管理経費	千円	目標値	440	達成率	450	達成率	460	達成率
			実績値	478	108.64	403	563	453	
活動	事故件数	件	目標値	15	達成率	15	達成率	18	達成率
			実績値	15	100	15	11	18	
活動	年間管理台数	台	目標値	78	達成率	77	達成率	76	達成率
			実績値	78	100	72	76	77	
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
			実績値						
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
			実績値						

【事業の成果】

事務事業名	入札諸事業			事業コード	02010500601		
所管部署	監理課		電話	50-3021		記入者名	田淵 秀資
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	効率的な行財政運営の推進			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	有	地方自治法・公共工事の入札及び契約の促進に関する法律					
根拠例規	有	坂井市財務規則					
関連計画	無						
事業の概要	公共工事は、その多くが経済活動や市民生活の基盤となる社会資本の整備を行うものであるため、その入札及び契約に関しては、「公共工事の入札及び契約の促進に関する法律」に基づき、透明性の高い入札を執行する。						
	<p>◆入札執行に係る事務経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 消耗品費（設計書閲覧CD、書籍等） 142千円 印刷費（契約約款） 105千円 ○委託料（契約管理システム保守点検） 160千円 ○使用料及び賃借料（契約管理システムリース、電子入札システムリース、積算等管理サーバーリース） 1,176千円 ○負担金 福井県電子調達システム共同利用負担金 3,967千円 ○その他 研修旅費等 58千円 						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行ける改善提案	電子入札の利用推進を図り、入札に係る事務手続きの省力化及び入札・契約制度の透明性・公平性の向上、ならびに利用者の利便性の向上を進めます。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	電子入札の利用促進を図り、入札に係る事務手続きの省力化及び入札・契約制度の透明性・公平性の向上、ならびに利用者の利便性の向上を進めます。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	

【担当者評価】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費					
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	216千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	98千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	4,703千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費合計	5,017千円	千円	千円	千円	千円					
	人件費		正職員	3.50人	23,783千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	3.50人	23,782千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		28,799千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円				
その他			594千円	千円	千円	千円					
一般財源			28,205千円	千円	千円	千円					
財源合計	28,799千円	千円	千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	---	年度を目安
判断理由	現在行っている入札書事業においては、透明性・公平性を保ち適正な契約を行うためには必要不可欠ですので、今後も継続していきます。					
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	---	年度を目安
判断理由	現状通り、電子入札の利用推進を図りつつ、市の方で入札に関する事業を行っていきます。					
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。			目標年度	---	年度を目安
判断理由	電子入札システムや入札管理システムなど、事業を行うために必要なシステムの導入・保守など、必要に応じた予算を計上していきます。					
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。			目標年度	---	年度を目安
判断理由	事業の仕量と職員の状況を見ながら、必要な場合は人員の増加も検討していきたいと思えます。					
すぐに行ける改善提案	電子入札の利用促進を図り、入札にかかる事務手続きの省力化及び入札・契約制度の透明性・公平性の向上、ならびに利用者の利便性の向上を進めます。					
目標年度	---	年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	電子入札の利用促進を図り、入札にかかる事務手続きの省力化及び入札・契約制度の透明性・公平性の向上、ならびに利用者の利便性の向上を進めます。					
目標年度	---	年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	全入札件数に占める電子入札件数の割合	%	目標値								
			実績値	21.1	---	25.8		6.4			
活動	年間入札件数	件	目標値								
			実績値	341	---	372		419			
活動	電子入札件数	件	目標値								
			実績値	72	---	96		27			
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	土地開発基金費			事業コード	13020300101		
所管部署	監理課	電話	50-3021	記入者名	岡崎 青史		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	効率的な行政運営の推進			事業種別	内部管理事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有 土地開発基金条例、土地開発基金管理規則						
関連計画	無						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地を、あらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図ることを目的とする。

○積立金 土地開発基金積立金（利子分） 30千円

すぐにできる改善提案	前年度は計画がありませんでした。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	前年度は計画がありませんでした。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	諸支出金	項	基金費	目	土地開発基金費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	73 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	73 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.02 人	136 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.02 人	136 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		209 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		73 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		136 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		209 千円	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	確実かつ効率的な運用に努めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	従来通り取り組んでいきたいと考えています。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	効率的な運用に努めています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	現状で努力します。			
すぐにできる改善提案	優良土地、不要な土地の洗い出しを検討していきます。			
目標年度	平成25	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	土地の場所を精査し、開発も視野に入れたいと考えています。			
目標年度	平成30	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	
土地面積の削減		㎡	目標値	59,000	達成率 59,000	達成率 59,000	達成率 60,000	
			実績値	59,685	101.16	59,813	101.38	59,941
土地金額の削減		円	目標値	160000000	達成率 190000000	達成率 200000000	達成率 500000000	
			実績値	163003695	100.21	193003695	100.2	23003695
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値		達成率	達成率	達成率	
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値		達成率	達成率	達成率	
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値		達成率	達成率	達成率	